

ワーキンググループ(第1回)

おこな
を行いました!

けんりつさがみはらこうえん ひろば 県立相模原公園「ともいき広場」づくり ワーキンググループ

けん さがみはらこうえん しょう じょうきょう ていど
県では、相模原公園に、障がいの状況や程度にかかわらず
だれ いっしょ あそ ゆうぐ ひろば
誰もが一緒に遊べる遊具のあるインクルーシブな広場※「ともいき
ひろば
広場※」を整備することとしました。



こんかい しょう どうじしゃ しえんしゃ けいかく
今回、障がい当事者や支援者などと、計画を作るところから
いけん こうかん つく せっち
意見を交換し、ともに作っていくためにワーキンググループを設置しました。

※インクルーシブは、英語で「すべてを含んだ、包括した」という意味があり、インクルーシブな広場とは、障がいの
じょうきょう ていど
状況や程度にかかわらず、誰もが一緒に遊べる遊具のある広場です。

※県が実現をめざす「ともに生きる社会かながわ」から「ともいきひろば」としました。

◆ 開催概要

にち じ れいわ ねん がつ にち かようび じ じ ふん
日時：令和5年7月25日(火曜日) 14時から 16時30分

ば しょ けんりつさがみはらこうえん けんしゅうしつ
場所：県立相模原公園 研修室

さんかしゃ ほうじんさがみはらししょうがいじしゃふくしだんたいれんらくきょうぎかい
参加者：・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会

ほうじん けんしたいふじゆうじきょうかい
・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

けんりつさがみはらしえんがっこう
・県立相模原支援学校PTA

けんりつさがみはらしえんがっこう
・県立相模原支援学校

けんりつさがみはらちゅうおうしえんがっこう
・県立相模原中央支援学校

けんりつさがみはらこうえんしていかんりしゃ
・県立相模原公園指定管理者

だんたい あつ
6つの団体にお集まりいただき、
かいめ かいぎ ひら
1回目の会議を開きましたので、
がいよう ほうこく
その概要を報告します。

◆ 位置図



◆ ワーキングの内容

【県立相模原公園における「ともいき広場」の整備について】

県から、ワーキンググループを設置した目的やスケジュール、広場の整備を予定している場所などについて、説明しました。

【インクルーシブな遊び場の取組事例紹介】

公園の計画を考える会社の人や、公園の遊具を作る会社の人から、インクルーシブな遊び場づくりのポイントや取組事例の紹介を聞き、理解を深めました。

● インクルーシブな遊具の代表例



寝ころんだ状態でも乗れるブランコ



くるまですここのかいてんゆうぐ
車椅子の子でも乗りやすい回転遊具

ワーキングの様子



【現地調査・意見交換】

広場の整備を予定している場所のほか、駐車場や休憩所、トイレなどの周辺施設も含めて、実際に現地を見て、気づいた点などを意見交換しました。

● 主な意見

- ・広場の整備予定地は、周りに樹木があり木陰も多くとても良い。芝生も広く、花もきれい。
- ・障がい者用の駐車場を増やしてほしい。
- ・日陰にベンチなどの休憩施設を増やしてほしい。
- ・公園の案内板の文字が小さく、わかりづらい。
- ・整備する遊び場までの誘導サインがほしい。
- ・ベンチやスロープに手すりがほしい。
- ・シンボルになる遊具があるとよい。

などのご意見をいただきました。



駐車場



休憩所



広場の整備予定地



解説の様子

◆ 今回のまとめと今後の予定

より多くの方からご意見をお聴きして計画を作っていくため、今後、アンケートや遊具の体験会などを行うこととなりました。次回の会議は、秋頃に開かれる予定です。

◆ 問合せ先

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班 電話 042-784-1111(代表) 令和5年8月